

第17回 生コンセミナー 「コンクリートの乾燥収縮問題への対応」

2008年に日本建築学会、土木学会においてコンクリートの乾燥収縮率について要求事項が示されたが、1953年に生コンJISが制定されて以来、規格品については要求がなかったことから、生コン側では、データの蓄積及び管理システムが構築されていない。

主として建築用コンクリートの発注にあっては、ひび割れ抑制対策としての乾燥収縮率の限度要求が行われるようになってきているが、現状の生コン工場では乾燥収縮率の実態を調査している段階で、管理方法の確立のためには、標準的な配合、試験条件、試験頻度、試験機関(JIS Q 17025の取得/JIS Q 17050:自己適合宣言);試験実施のキャパシティーなどの問題や、試験のバラツキ(測定の不確かさ)、材料による変動など検討すべき課題が多い。このため本件に対する品質保証について総合的に検討し、適切な対策を講じることが急務となっている。

そこで生コンセミナーにおいて、乾燥収縮率の要求事項に対する実態について情報を共有し対策に関するあるべき姿、品質管理の拡充による品質保証の方向性について提案を行う。

生コン関係者の皆様にはふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

社団法人 日本コンクリート工学協会
コンクリート工学年次大会2010(さいたま)
実行委員会委員長 大 即 信 明
生コンセミナー部会長 阿 部 道 彦

第17回 生コンセミナー プログラム

2010年7月8日(木) 13:30~17:00

テーマ

コンクリートの乾燥収縮問題への対応

司会：宮澤 伸吾 (足利工業大学)

1 趣旨説明 13:30~13:40

● 生コンセミナー部会長 阿 部 道 彦 (工学院大学)

2 第1部 基調講演 13:40~15:00

(1)生コンユーザーの乾燥収縮に対する要求事項について

株式会社大林組 技術研究所 十 河 茂 幸

(2)生コン業界における乾燥収縮への取り組みについて

宇部生コンクリート株式会社 吉 兼 亨

休憩 15:00~15:10

3 第2部 パネルディスカッション 15:10~16:50

● コーディネーター 桜 本 文 敏 (鹿島建設株式会社 技術研究所)

● パネリスト 古 賀 康 男 (社団法人セメント協会 研究所)

梅 沢 健 一 (コンクリート用化学混和剤協会)

閑 田 徹 志 (鹿島建設株式会社 技術研究所)

渡 辺 博 志 (独立行政法人土木研究所)

副 田 康 英 (全国生コンクリート工業組合連合会)

真 野 孝 次 (財団法人建材試験センター)

4 総 括 16:50~17:00

● 阿 部 道 彦 (工学院大学)